

平成29年度第2回小串警察署協議会会議録

開催日時	平成29年7月28日（金） 13:30から15:30まで	
開催場所	下関市豊浦町大字小串191-1 小串警察署1階 講堂	
出席者	委員	西島英敏、矢田瑞枝、大石正夫、前田敏道 計4人
	警察署	署長、次長兼警務課長、会計課長、刑事生活安全課長、 地域交通課長、警備課長、警務係長、会務係員 計8人
議題	1 警察業務の推進状況 2 大規模自然災害及び事故災害に備えた諸対策の推進（協議）	
<p>1 会長挨拶</p> <p>みなさん本日はよろしくお願ひする。この度、福岡県・大分県を中心に九州北部で大雨による災害の被害を受けられてお亡くなりになられた方、また被災された方のお悔やみとお見舞いを申し上げる。本日の諮問事項も、大規模自然災害に備えた諸対策の推進となっており機会を捉えたものとなっているので、みなさんの忌憚のないご意見をいたただければ、これから起こるかも知れない自然災害の備えになると思うのでよろしくお願ひする。</p> <p>2 署長挨拶 (省略)</p> <p>3 署長業務説明</p> <p>(1) 警務会計課関係</p> <p>ア 警察安全相談 平成29年6月末の警察安全相談の取扱い状況について説明した。</p> <p>イ 広報活動 平成29年6月末の広報活動推進状況について説明した。</p> <p>ウ 遺失物拾得物関係 平成29年6月末の遺失届、拾得届の取扱い状況について説明した。</p> <p>(2) 地域交通課関係</p> <p>ア 110番通報への対応状況・トータルリスポンスタイム関係 平成29年6月末の110番通報への対応状況及びトータルリスポンスタ</p>		

イムについて説明した。

イ 交通事故発生状況

平成29年6月末の交通事故発生状況について説明した。

ウ 交通指導取締りの推進

平成29年6月末の交通指導取締りの推進状況について説明した。

(3) 刑事生活安全課関係

平成29年6月末の犯罪情勢と犯罪抑止・検挙活動の推進状況について説明した。

4 協議 ～大規模自然災害及び事故災害に備えた諸対策の推進～

近年における大雨災害の現状及び災害に備えた諸対策の推進状況・今後の対策について説明した。

5 諮問事項に関する質疑応答

(次長)

警備課長の説明にあったエリアメールについては、7月7日の大雨の際、午前5時32分に委員の皆さんの携帯電話にも強制的にメールが入ったと思う。これは携帯電話各社が、緊急的に命の危険性がある時に出しているもので、メールの内容は「避難勧告発令。こちらは下関市です。降り続く雨により下関市に土砂災害警戒情報が発表され、土砂災害の恐れが高まってきましたので、彦島・豊前田・六連島・上新地・唐戸地区に午前5時19分避難勧告を発令しました。同地区の土砂災害警戒区域にお住いの方は、最寄りの避難所に避難してください。ただし、避難が危険な場合は、ご自宅の2階や崖の反対側に緊急避難して安全確保に努めてください。」という内容で、これは下関市の防災安全課が発信をしている。このメールは、命の危険性があるので強制的に入る。他にエリアメールには、北朝鮮がミサイルを撃って、命の危険性があれば強制的に入ってくる。このエリアメールが入ってくることで自体が非常に危険な状態であるので、そのあたりをよく理解をしておいていただきたい。また、警備課長の説明の中であった、防災メールであるが、これを登録していると頻繁にメールが入ってくる。我々も職務上必要であるので気象情報や火災情報等、いろいろな項目を選択して登録しているが、とにかく真夜中であろうが頻繁にメールが入ってくる。ただ職務上非常に大事なことなので、項目を選択して登録をしている。この項目の中に洪水情報や河川情報関係のすべて入っている。栗野川の場合、防災無線か何かで氾濫の恐れがある時は放送が流れたりするのか。

(委員)

豊北町では豊北総合支所からオフトークといって、いろいろな情報が音量を小さくしていても自動的に音量が大きくなって情報を流すということをやっている。ただこのオフトークの回線がデジタル化に変わることから、来年の3月末で廃止になると聞いている。独居高齢者が多いところなので、地域の行事の情報やうそ電話詐欺に気を付けようという内容でいろいろな情報を流している。お年寄りの方はオフトークを結構聞いている。

(次長)

警察でも、そのような事件事故関係の内容は毎月総合支所に原稿を提供している。漁協では、組合の方たちに一斉に放送するということはしていないのか。

(委員)

放送はやっている。ただ、今は去年の台風の時に電線の半分くらいが切れて、設備自体がとても古いこともあって修理に費用がかかるということで、まだ修理をしていない。そういう訳で組合員の約半分くらいの方は放送が聞けていない状態である。

(次長)

その放送は、マイクで話せばスピーカーから流れるのか。

(委員)

そうである。ただ、先ほど話したとおりの電線の半分くらいが切れた状態なので、緊急の時は困ると思う。

(次長)

放送は活用しているのか。

(委員)

活用はしているが、放送しても聞いていなければ伝わらないので、大事なことは漁協が個別に電話連絡をしている。修理の件は、連合自治会長や水産課の方に補助をお願いしている。早く修理をしなければ緊急の時に困ると思っている。各漁協とも放送施設を活用している。

(次長)

ハザードマップは各家庭に配られているが、これを見ると黒井地区の一部分に土砂災害の危険区域がある。

(委員)

杜屋神社近くの団地の裏山の辺りが危険箇所になっていると思う。

(次長)

厚母川が氾濫するということはないのか。

(委員)

以前はよく氾濫していたが今はほとんどない。厚母川と杜屋川が合流する所の川土手が切れて氾濫していた。

(委員)

川が合流する地点では、大きな川の流れの方が強いので小さい川の方で氾濫するということがある。

(委員)

あと海に近い河口付近では、川の増水と海の満潮が重なると川が氾濫することがある。

(次長)

確かにそうである。私も数年前下関署で勤務していた時に、ちょうど大潮の満潮時に台風が来て、警察署の地下駐車場が海水で水浸しになって、パトカーなど車両が全部だめになったということがあった。粟野川はよく氾濫危険水位近くまで増水することがあるが、氾濫したことはあるのか。

(委員)

栗野川は以前はよく氾濫していたので、川の周辺の家は土地をかさ上げしているところが多い。ところどころで川幅を広げる工事をしているが、逆に川幅が細くなったところは、水の流れが速くなってしまうということも起きている。特に、川がカーブしているようなところは、決まって水の流れが強くなって、水浸しになったりしていた。

(次長)

今回の九州北部の災害も流木が非常に問題になっていた。栗野川上流も河川の周りはほとんどが山で木が多いので、今回の九州北部であったような線状降水帯が発生すると大変な災害となる。数年前には広島でもあったし、今回の秋田県もそうである。

(委員)

やはり杉の木は根を張らないので流されたりする。

(次長)

栗野川の流域は杉の木が多いのか。

(委員)

川の周辺にはあまり杉の木はないと思う。川の上流の方はよく分からないが、下流になると川は田んぼの中を流れている。

(次長)

よくダムで放流する時は放送をするが、そういう放送をする設備が栗野川の周辺にはあるのか。

(委員)

川の周辺には放送する設備はないし、栗野川上流にはダムがない。

(次長)

昨年同じような時期に警察署協議会をやった時に、高齢者の避難をどうするかということが問題になったが、これは非常に難しい問題だと思う。

(委員)

私の地区でも避難所が決められているが、土砂崩れや川の氾濫であればよいが、地震による津波が来れば、そこに避難すると海拔が2.4メートルしかないので、避難した全員が津波の被害を受けてしまう。大雨による川の氾濫や土砂崩れ、津波でそれぞれの避難場所を決めておくことが大切と思う。日頃から、市の方で災害の種類によって、それぞれの避難場所を各地区の住民に周知させておくことが大切と思う。地震があつて、道路が寸断されてしまうと車での避難は難しいと思う。

(次長)

私が阪神淡路大震災の時、現地に行って警察車両でサイレンを鳴らして緊急走行しても、車が渋滞していて通行できなかった。

(委員)

私がいる地区では高齢化が進んでいるので、高齢者の避難をどうするかということを、日頃から考えておく必要があると思う。

(委員)

私が住んでいる地区はこれまでに災害の発生がないので安心できているところがある。以前、地区の集会があった時に、市の災害を担当されている方が来て、災害の話しをされたことがあった。その時、集会に参加した者同士で、お互いに住んでいるところの危険箇所について話し合うということがあった。その時に区画整理や河川の修復工事、新しい道路ができたりして地形自体が変わってしまったという意見が出たので、ハザードマップの災害危険箇所の点検や見直しをこまめにした方がいいように思う。自然災害とは少し違うが、私の近所に倒れかかった空き家があってこの前の強風の時に、とうとう空き家が倒れた。空き家も最近増えてきているので怖いと思った。家が倒壊して道路を塞いだりすると、それが次の災害を起こしてしまう可能性もあるので、やはり普段の生活の中で危険箇所を把握しておくことが大事と思う。

(次長)

やはり災害はいつ起きるか分からないという意識を普段から持つことが大切である。

(委員)

私のところでは、4月に自治会長が変わりその時の集まりで、災害時の緊急連絡網を見直そうという話しが出た。私がいる地区もお年寄りが多いので、以前から自治会の中の各班が、避難する時の緊急連絡網を作って、お年寄りの安否を確認するようにしている。

(次長)

そのように自治会でいろいろ考えているところもあるが、今は自治会に入らない方も増えてきているので、その方たちの避難をどのようにするかという難しいところがある。

(委員)

今回の北部九州の大雨災害でも、前線が少しでもずれれば山口県が被害に遭っていたと思う。下関市でも一部の地域で避難勧告が出された。今は集中的な豪雨が、いつどこで起きるか分からない状況である。

(委員)

去年の6月私の家の近くで、その前の4月に熊本県で地震があって地盤が緩んでいた影響で、大雨が降った時に土砂崩れがあった。たまたま車も人もいなくて、道路を塞いだだけであったが、それを見てやはり自然災害は怖いと思った記憶がある。

(次長)

他にご意見等がなければ以上で平成29年度第2回小串警察署協議会を終了させていただきます。

6 次回開催予定

平成29年度第3回小串警察署協議会の開催予定は、10月下旬頃とする。

7 配付資料

- 平成29年度第2回協議会資料～(警察署作成)

○ 諮問事項関係資料～（大規模自然災害等に備えた諸対策の推進）